

百歳こえるまで、この家と共に

（8/19）市東さん、闘魂の新築祝い

日刊 勤労千葉

84. 9. 1

No. 1732

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二二七二〇七

さあ、いよいよ二期決戦だ

10・10に空前的な大結集を

反対同盟本部役員市東東市さんの新居が見事に完成し、八月十九日、新築祝いが反対同盟各部落の代表を中心に三里塚を共に闘う支援勢力各代表がかけつけ盛大のうちに開催されました。市東家の新居は、しっかりと台地に根をはやし、力強く建立されたと同時に、あらたな三里塚闘争の拠点として三里塚闘争の勝利にむけて重要な役割を果たすものです。

「勝利の日まで、生涯かけて闘う」

闘う新拠点完成！

去る五月三日棟上以来三カ月、しかも敷地内に堂々と建てられた新居は、柱の一本一本、ハリの一本一本が、二期阻止を闘いぬく反対同盟農民によってたんせい込めて育てられた木であり、そうした木が新居をささえているのです。

しかも、棟上から完成までの全過程をととした公団や警察権力からの妨害を粉碎しつつ反対同盟と全国の支援の力で建設をかちとってきた事、また、成田用水攻防戦、二期決戦の激戦の渦中での新築であり、実に見事な壮挙であるといえます。

かけつけた反対同盟農民、支援勢力の人々は、それぞれ祝辞をのべ、お互いに、これを期に、二期阻止、三里塚闘争勝利の日まで頑張ることを誓いあいました。

謝辞に起った市東さんは、要旨次のように決意されました。

「佐藤さん（頭梁）をはじめ多くの人達の協力で家が完成しました。完成した家に公団は打撃をうけ、権力は、ただちに撤去を狙っています。私は革命にかかわったのがおそかったけれども、この家と共に一〇〇才以上は長生きして革命をめざし何べんも何べんも三里塚闘争勝利の日まで、日帝打倒の決意で闘いぬきます。私は生涯をかけて、皆さんとともに闘いつづけます」

運輸省、来年度二期工事予算を計上

成田用水を何カ月間にもわたって実力阻止し、今また敷地内に闘う拠点がつきつきと建っていくというこうした反対同盟の力強い前進にあせりにあせった政府・空港公団・運輸省は、八月二十八日、いよいよ二期着工強行へ具体的にふみだしてきます。

まず「外堀」（第二旅客ターミナル建設）から

の「なしくずし的」な着手を狙う、第一弾として、バリケード工事を開始、そのためにいわゆる二期工事準備費として二十二億円を来年度予算に計上しました。

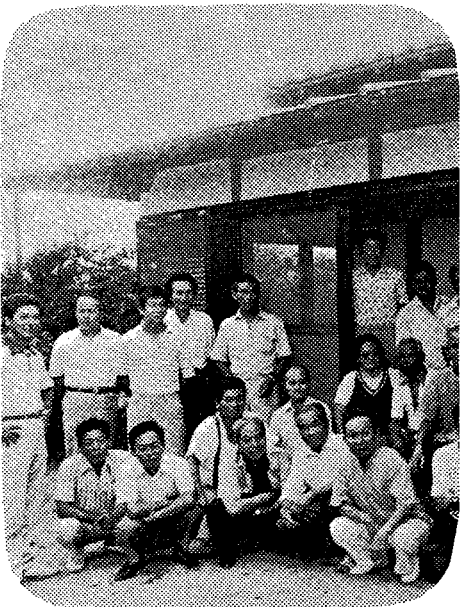
「外堀」をうめたのち「本丸」（二期工事敷地内）を攻めようとするものであり、二期工事の完成は、四年の歳月と、総工費七千億という膨大なものであることも発表しました。

10・10に総結集しよう

しかし、これらの唯一の理由としてあげているのは、①成田空港の旅客取扱いが限界であり、②関係市町村の二期促進決議の提出によって「ムード」が高まったということのみなのです。

敵の二期着工は、権力機動隊とブルトーザによる、暴虐手段以外にありません。反対同盟農民を中心とする三里塚闘争の一九年間の激闘は、いよいよ本格的な正念場を迎えたのです。絶望的危機におちいった政府・空港公団・権力・脱落派・反動的諸勢力をいまこそ追撃し打倒・粉碎する絶好のチャンスがおとぞれたのです。

二期着工強行宣言を怒りをこめて弾劾し、暴力的「外堀」着手を許さず今秋10・10にすべての労働者・人民が総結集し、敵の「宣言」に対する答えにしようではありませんか。



新居の前で（前列右から2人目が市東さん）